

遠州の小京都 森町

遠州森町

見物心得帳

心得とは物事を理解すること、
心構えや守るべきことなどを意味します。
見物心得帳を読んで、
遠州の祭りの「とり」を飾る
森のまつりを体感してください。

平成26年
11月1日(土) 2日(日) 3日(祝月)

三島神社 神輿渡御 ● 2日(日)三島神社 午後1時40分出発

三島神社 神輿還御 ● 3日(月)金守神社 午後1時出発

舞児還し ● 3日(月)三島神社 午後6時出発

※天候や諸事情により、行事の出発時刻、内容等が変更になる場合がございます。

遠州森のまつり見処10選

見処は徒歩での見学を対象に作成されております。お車で起こしの場合は交通規制に準じ、所定の駐車場をご利用ください。

主な屋台の動き

- 11月1日(土)**
 12:00~ 祭典開始宣言式
 (三島神社へ全屋台(14台) 集合)
 清祓の後、各屋台それぞれ曳き廻し
 17:00頃~ 全屋台 城下地区へ
 (全屋台による夜の屋台行列はこの時のみ)
 19:30頃~ 全屋台 森地区へ
 22:00 各屋台車庫入れ
- 11月2日(日)**
 6:00頃~ 数社で朝祭り
 9:30頃 三島神社本祭(屋台集合)
 10:00頃 谷本神社本祭(屋台集合)
 13:00~ 神幸祭(三島神社へ屋台集合)
 13:40~ 神輿渡御(全屋台随行し、金守神社へ)
 18:00頃~ 全屋台 森地区へ
 22:00 各屋台車庫入れ
- 11月3日(月)**
 8:00頃~ 向天方地区へ屋台集合
 10:00~ 天方神社本祭
 9:00~ 還幸祭
 12:30~ 金守神社から全屋台出発
 13:00~ 神輿還御(全屋台随行し、三島神社へ)
 14:30~ 森川稲荷社本祭
 17:45頃 三島神社へ全屋台集合
 18:00~ 舞児還し(各屋台 舞児を乗せて自町内へ)
 19:30頃~ 全屋台 森地区へ
 22:30 各屋台車庫入れ

※天候や諸事情により、時刻、内容等が変更になる場合がございます。

おまつり豆知識

進行提灯
 「祭りの華」とも呼ばれ、屋台の進行を司る進行係のもつ緑(青)色の提灯、屋台は進行係の采配で動き、曳き廻しの妙はこの提灯の手腕にかかります。

見処5

神輿渡御

2日(日)午後1:40出発
 三島神社→金守神社



三島神社から金守神社に向かう神輿の巡行
 稚児行列、随行する14町の屋台が
 秋葉街道の面影を残す町並みを進みます。

見処3

夜の練り

1日(土)・2日(日)・3日(月)
 午後7:00頃~ 町中心部 各所



祭典の三日間練り広げられる激しい練り
 「けんかまつり」と呼ばれる所以(ゆえん)です
 迫り来る屋台と人波に気持ちは高ぶります。
 ●練りは安全な場所で見学ください。

見処2

城下の町並みと夜の屋台行列



1日(土)午後6:00頃~ 夜の城下の町への
 屋台の曳き廻し
 2日(日)午前9:00頃~
 城下の町並みへ
 谷本神社へ
 城下地区には森町村との合併前から
 森の屋台が訪れていました。
 一日目の夜、のこぎりの刃のような独特な町並みを
 14台の屋台の光の行列が勇壮に進みます。

見処4

お囃子コンクール

2日(日)午後2:00頃~
 祭典本部前にて各社



神輿渡御の途中、祭典本部の前で
 14社のお囃子コンクールが行われ
 自慢のお囃子や
 パフォーマンスを競います。

見処1

祭典開始宣言式

1日(土)午後0:00~
 三島神社境内
 お囃子奉納・屋台清祓い

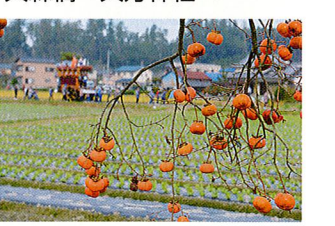


全町の屋台が三島神社に参集
 安全を祈願し、祭典の開始を宣言
 いよいよ屋台が練り出します。

見処7

田園風景の祭り

3日(月)午前9:00頃~
 天森橋~天方神社へ



戦国時代、山城だった天方城の下
 のどかな田園を屋台行列が進みます
 治郎柿の赤い実が晩秋の風情を感じます。

見処9

舞児還し

3日(月)午後6:00出発
 三島神社境内



これぞ森のまつりのクライマックス!
 たくさんの提灯の光につつまれ
 舞児を乗せてにぎにぎしく進む屋台は圧巻です。

お願い
 3日(月)午後5:00より舞児還し終了まで
 危険防止のため左記の区域への正装以外の
 一般観客の皆様は立ち入りはご遠慮願います。

見処8

神輿還御

3日(月)午後1:00出発
 金守神社→三島神社



金守神社から三島神社に還る神輿の巡行
 栄町大通りを進む14町の屋台行列は
 まさに小京都森町の祭り絵巻です。

見処6

御旅所祭

2日(日)午後3:00 金守神社境内



神輿が御旅所の金守神社に到着後
 十七夜の大藤の下で
 厳かに舞いが奉納されます。

